

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	入間市地域福祉計画進行管理委員会
開 催 日 時	平成29年12月25日(月) 午前10時 開会 ・ 午前11時15分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟4階 大会議室
議 長 氏 名	栗原正明
出席委員(者)氏名	橋本清美 山下恵久子 齋藤勝久 臼井 秀 白水 翠 下里隆子 宮岡幸江 幡野敏彦 永田香世子 栗原正明 伊藤祐一 橋本康夫
欠席委員(者)氏名	高橋康造
説明者の職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主事 松本幸文 社会福祉協議会 主幹 横田修
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開 会 2 委員長あいさつ 3 議事録署名人の選出について 4 議 題 (1) 元気ないるま福祉プランの改定について(公開) 説明・報告 (1) 平成29年度いるま福祉懇談会報告について(公開) (2) 地域ささえあい組織について 5 情報交換 6 閉 会
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・地域福祉計画の基本理念について 【資料1】 ・基本体系(案)について 【資料2】 ・地域福祉計画改定スケジュール(案) 【資料3】 ・平成29年度いるま福祉懇談会 【資料4】 ・入間市における支えあい団体について 【資料5】
事務局職員職氏名	福祉総務課 課長 小久保安浩、主幹 浅見孝之、主事 松本幸文
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### 議 題

- (1) 元気ないるま福祉プランの改定について
  - ・資料に基づき基本体系（案）の説明や改定スケジュールを事務局で説明

## 会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)
事務局	<p>第2回会議の議事録署名人は、名簿順に従い臼井秀委員となりました。</p> <p>(議題の(1)元気ないるま福祉プランの改定について、資料を基に事務局から説明)</p>
栗原委員長	ただいまの事務局の説明について、何かご意見ご質問等がありますか。
伊藤委員	基本理念の第二次地域福祉計画の二、第三次地域福祉計画の三が漢数字になっているが、あえて紛らわしくないように漢数字にしているのでしょうか。
浅見主幹	<p>伊藤委員のおっしゃるとおり、特に何かに則ったものではなく、単に見分けをつけるためという意味で表現させていただきました。</p> <p>今後の会議におきましては、漢数字ではなくアラビア数字で統一させていただきます。</p>
伊藤委員	第2次地域福祉計画の基本理念に基づく評価や反省があったと思うが、それらはどの程度評価をし、第3次地域福祉計画の基本理念を作っていたのでしょうか。
浅見主幹	第2次地域福祉計画の進行管理につきましては、前回の第1回進行管理委員会の際に28年度の評価ということでまとめていただきました。29年度の進捗につきましては次回の第3回進行管理委員会の際にまとめいただいたものを提案させていただきたいと考えております。今回の理念、基本

発 言 者	発 言 内 容
伊藤委員	<p>目標につきましては、第2次計画を踏まえたうえでということではなく、入間市総合計画をもとに提案をさせていただきました。第2次計画につきましては平成30年度分計画期間が残されておりますので、そちらも踏まえて、基本体系の理念、目標、取組の方向性ということが出てきますので、こちらに転換し、足りない部分は補っていき、達成できたものは外していこうと考えております。</p> <p>第2次計画を策定したときは、大変な労力を費やし、まとめあげたと思います。新しい進行管理委員会で第2次計画の議論、評価がされないうちに第3次計画の策定作業がはじまってしまったので、それはどうなのでしょう。</p>
小久保課長	<p>1次計画にありました「自然に帰ろう私たちの入間市」を直すにあたりまして、進行管理委員をはじめ、皆様にご協議いただき、「自然な心が通い合うわたしたち入間市」ということで、「自然な」というところをこだわって残されました。市の総合計画にも政策目標②のところに「自然な心が通い合う」という文言が残っておりますが、今回、社協の事務局と調整をして、市の計画などに見比べながら、提案させていただきました。前回こだわられた「自然な心が通い合う」という部分を残すべきだということであれば、みなさんのご意見を尊重して、残すということは差し支えありません。社協の活動計画と市の地域福祉計画で今まで文言が違ったので、統一したほうがよいのではないかという打合せのもとで作らせていただきました。</p>
宮岡委員	<p>スケジュールのご説明をいただきましたが、重要な計画を作るのにこれだけの回数で大丈夫なのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
浅見主幹	あくまで、これから先1年半を通した計画ということになっておりますので、委員の皆様にご意見をうかがう必要がありましたら、適時、開催をさせていただきたいと思っております。
橋本（康）委員	前回の進行管理委員会での説明の時には、それぞれ別に任命はせずに、進行管理委員がそのまま策定委員をやるということでした。それを、先程も言われた通りこの回数で実行可能なのでしょうか。
小久保課長	第2次計画を作る時にも進行管理をしながら、改定作業をお願いし大変ご苦勞をかけたと思います。前は年度の間に7、8回お集まりいただいていると思いますので、柱になるものはこちらに書いてありますように4回でお願いしたいと思いますが、ただ進行具合によっては毎月1回はお集まりになっていただくかもしれません。改定作業に並行して、進行管理もさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。
下里委員	前回は臨時での開催が多かった気がします。並行してやるので、どこまで達成しているのか、数値などを資料で出してもらい、ここは達成しているからこのままでいいのではないかと、ここは変えた方がいいのではないかと話し合いながら1年やりました。地域福祉計画と活動計画を並行していくので、足並みをそろえたほうがいいと思います。
事務局	（説明・報告の（1）平成29年度いるま福祉懇談会報告（2）地域ささえあい組織について、事務局から説明）
栗原委員長	ただいまの事務局の説明について何かご質問ありますでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
白水委員	豊岡第1地区でもささえあい活動を進めたいと思いますので、7つ目に追加してください。1月くらいにアンケートを取り、これからニーズをとらえていきたいと思います。
伊藤委員	西武地区ですが、何か足掛かりをつかまなくてはいけないということで、以前、栗原委員長と連名でビラを地域に配らせていただきました。もう一度、西武地区の皆様へ、地域のささえあい活動を一緒に始めてみませんかという文書を用意し、個人個人に配布して賛同者がある程度集めていきたいと思っています。包括センターの幡野さんにご指導いただきながら、組織立ち上げの動きを本格化させていきたいと思っています。
栗原委員長	西武地区はまだ豊岡第1地区ほどは進んでいませんが、ゆっくりとすすめていくところです。
宮岡委員	プランの41ページにある地域ささえあい組織とは、入間市の近隣助け合い活動推進組織がこれにあると書かれていますが、これと今やっている入間市の地域ささえあい組織とは違うものなのでしょうか。
社協	先程から出ております近隣助け合い活動推進委員会がすでに9地区にあります。そのうち、近隣助け合い活動推進委員会を中心に地域ささえあい組織を市内で展開していこうというのが最初の動きになります。その結果、東藤沢地区近隣助け合い活動というものがもともとあったのですが、これが今ささえあい東藤沢という名前になっています。ですから、東藤沢地区では近隣助け合い活動推進組織イコールささえあい東藤沢といった形で活動されています。豊岡第2地区の元気にする会というのは、豊岡第2地区の近隣助け合い推進委員会の中のささえあいの部会という形になります。ですから、もともとの近隣の活動の中の一つになります。そのような

発 言 者	発 言 内 容
	<p>形ですすめてきてはいるのですが、実は近隣助け合い活動の藤沢地区にある、グリーンヒルお助け隊というのは、近隣助け合い活動として直接活動しているというわけではありません。グリーンヒルお助け隊は、先行して近隣助け合い活動とは別にグリーンヒル独自のささえあい活動をはじめていましたので、藤沢地区の近隣助け合い活動の一つということではありません。グリーンヒルや入間台は近隣助け合い活動を構成している構成団体の一つということになってはいますが、直接の近隣助け合い活動にはなっていないというのが現状となります。本来は、近隣助け合い活動を中心に市内9地区で活動していくものですが、地区が大きいところは、自治会単位になっているというのが現状です。</p>
宮岡委員	<p>計画の中では近隣助け合い組織がこれにあたりますと書かれているので、一緒に活動していますとか、推進組織が把握していますとかということならばいいかと思いますが、組織として地域がバラバラというのはどうなのでしょう。</p>
臼井委員	<p>広い地区は1か所ではできないので、地区あるいはマンション別、自治会別などになってきてしまうので、計画の文言を変えていくしかないでしょう。</p>
下里委員	<p>2次計画を施行したのは平成26年の3月です。この時点でいえば東藤沢地区の1つしかありませんでしたが、今現在は増えつつあるので、そこはある程度達成したのではないのでしょうか。</p>
栗原委員長	<p>他にご質問ご意見はありますか。他にないようでしたら、情報交換に入りたいと思います。事務局もしくは委員の皆様から何かありますかでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
栗原委員長	<p>今年度も市内各地で徘徊声かけ訓練をやっているのですが、おかげさまで、入間市がずいぶん進んでいるということで、近隣市からも注目されています。飯能市の職員にも金子地区の第1回の立ち上げのところから参加していただきました。飯能市もゆくゆくはやりたいということでしたので、1回目の立ち上げのところから勉強してはどうかということで、金子地区に来ていただき、話がスムーズに進みまして、6月に金子地区の第1回会議をやり、12月に飯能市において初めて搜索訓練をやりました。入間市は住民主導で市にサポートしていただいている形ですが、飯能市の場合には、その話を聞いて毎回市役所の方が金子地区に来て、市が力を入れてやりました。ですから、会場の確保なども非常にスムーズにいき、12月2日に飯能市の精明地区で行いまして、入間市からは高齢者支援課の方が行っていただきました。こういう問題というのは市境で終わる問題ではなく、徘徊者はここから先は飯能市だからといって止まってくれるわけではないので、すごくいいことだと思います。とりあえず、飯能市とそういう形でできましたが、所沢市も以前からやっております、相互に人的に勉強のため足を運んではいるのですが、もう少し小手指と藤沢地区の方で交流が出来たらいいと思います。さらに進めると、入間市の場合には都県境があるので、瑞穂町や青梅市ともこういう形でできたらいいと思っています。とりあえず、今回飯能市は非常にいい形でできたということを報告させていただきます。</p>
幡野委員	<p>支えあいについて、西武地区の方でも近隣助け合い推進委員会がありますので、部会の中の一つとして作って見たらどうかということで、先日委員の方に何人か集まっていただき、ご説明をさせていただきました。2月に役員会を開いて、5月の近隣助け合いの総会の際に、合意ができればスタートしようという形で今動いています。西武地区も広くて1区から10区まで区域があるので、どのように進めていくかが課題となっております。</p>



発 言 者	発 言 内 容
白水委員	<p>す。豊岡第1地区でも活動を始めたという声がありましたので、参考にさせていただきながら、進めていきたいと思っています。</p> <p>豊岡第1地区では平成29年度の近隣助け合い推進委員会総会で合意を得まして、夏には運営委員会を立ち上げました。ですから主体は近隣助け合い組織になります。その中の一つの活動として運営委員会を立ち上げました。</p>
栗原委員長	<p>それでは、他に何かご意見はありますか。</p> <p>それでは本日の議題はすべて終了となります。これで議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

平成30年2月7日

議長の署名 \_\_\_\_\_ 栗原正明 \_\_\_\_\_

議長が指名した者の署名 \_\_\_\_\_ 臼井秀 \_\_\_\_\_